

# 平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

## 1. 事業の成果

「障がいの有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

年度当初に掲げた組織体制の整備について、掲げた 4 項目に対する取り組みは以下の通りである。

### ①組織運営の基盤となる理事会・事務局の強化

法人の事業拡大に伴い、理事の 1 名増員と 9 回にわたる検討の場を持った（うち理事会として 7 回開催）。事務局においては事業の実施を適切に行うよう努める一方で、課題解決へ向けた分析などの直接的な事業実施に関わらない部分の取り組みに時間を割くことができず、課題が残った。

### ②児童福祉法に基づく児童発達支援及び放課後等デイサービスの立ち上げと、障害者総合支援法に基づく生活介護事業立ち上げの準備

平成 25 年 7 月に立ち上げ予定だった障がい児通所支援事業が、スタッフの確保ができず一旦宙に浮く事態になった。そのため大幅に予定が遅れ、あらためて体制を整えた結果、平成 26 年 4 月の開所となった。

### ③行政との協働による障がいのある人の居場所機能の確立

平成 23 年度より障がい当事者が集うぴあ CAFE と、保護者が集うおや CAFE を統合したほっとスペースとして実施した。鳥栖市からの委託事業として取り組むことで、地域の中での障がい当事者や保護者のネットワークづくりを行うことができた。

### ④効率的な事業運営を目指した継続事業の再編及び集約

計画では実施規模や形態を工夫して実施することとしていたが、障がい児通所支援事業の実施が遅れたため、ほぼ前年度と同様の事業を実施することとなった。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

①障がい児・者の休日支援事業

支出額 10,593 千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障がいのある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。

実施日：月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00（8:30～18:00 の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校多目的室

スタッフ数：1日当たり6名

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒

対象人数：（延べ）2,993名

B. よかよか

障がい当事者や家族を繋ぐ場づくり、余暇時間の居場所づくり、心身のリフレッシュなどを目的とした活動を行った。

実施日：動作法7日、外出活動3日、保護者の会1日

実施場所：まちづくり推進センター、みやき町事務所、等

（動作法・保護者の会）

マリンワールド、キャナルシティ博多、佐賀城下ひなまつり

（外出活動）

スタッフ数：（延べ）講師12名、ボランティア57名、事務局19名

対象者：障がいのある人及び家族

対象人数：（延べ）58組81名

C. 障がい児の長期休暇支援事業（補助事業：佐賀未来創造基金）

障がいのある子ども達に対し夏休み期間中の居場所づくり、家族の介護疲れ等に対するレスパイトケアを目的に、夏休み活動を実施した。

実施日：6日（8/5, 7, 9, 26, 28, 30）

実施場所：みやき町事務所、鳥栖市民プール、プレミアムアウトレット

スタッフ数：（延べ）ボランティア8名、事務局15名

対象者：18歳以下の障がい児

対象人数：（延べ）18名

②障がい者の就労に関する事業

支出額 507 千円

リサイクルショップくるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障がいのある人の社会参加の促進を目指した。

実施日：月曜～金曜 10:00～17:00、及び地域行事

実施場所：儀徳町事務所（月曜～金曜）

ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、踊り座、要るく祭、  
鳥栖市民文化祭、ふれあい広場、旭地区文化祭

スタッフ数：（通年）事業スタッフ3名、事務局1名

対象者：（延べ）障がいのある人や関係者 200人

③福祉に関する相談支援事業

支出額 147 千円

コミュニティサロン

障がいの有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：毎週水曜日 10:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：（通年）ボランティア2名、事務局2名

対象者：（延べ）一般市民 807名

④障がい児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

支出額 213 千円

こころとからだの健康教室ほっと

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしてい

ただいた。

実施日：月曜～金曜 10:00～19:00

実施場所：事務所、など

スタッフ数：(通年) トレーナー 1 名、事務局 1 名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 298 名

## ⑥福祉啓発事業

支出額 375 千円

### A. 障がいに関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障がいのある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日：通年（計 5 日）

実施場所：旭小学校、基里小学校、若葉小学校、鳥栖中学校、  
麓まちづくり推進センター

スタッフ数：(通年) 1 名

対象者：小中学生、まちづくり推進センター職員

対象人数：(延べ) 約 1,600 名

### B. エンパワーメントセミナー事業（委託事業：鳥栖市）

障がい当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：平成 25 年 5 月～平成 26 年 2 月（10 回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：(延べ) 講師 26 名、ボランティア 21 名、事務局 21 名

対象者：障がい当事者、保護者、など

対象人数：おや CAFE（延べ）49 名、ぴあ CAFE（延べ）50 名、

あなたの相談室（延べ）13 名、つどいの広場（延べ）18 名

また、『市長と語る！ふれあいトーク』と『障がいのある子どもと備える年金のこと』を開催し、意見交換を含めて理解を深めた。

実施日：平成 25 年 7 月 14 日、平成 26 年 3 月 23 日

実施場所：鳥栖市社会福祉会館、旭まちづくり推進センター

スタッフ数：(延べ) 事務局 4 名

対象者：障がい当事者、保護者、など

対象人数：市長と語る！ふれあいトークン7名、  
障がいのある子どもと備える年金のこと7名

#### C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演・交流事業を行い、障がい福祉に関する理解を深めた。

実施日：年間13回

実施場所：佐賀・福岡の小中学校、特別支援学校、公共施設等

スタッフ数：(通年)1名

対象者：会員、鳥栖近隣の福祉関係者、一般市民、等

対象人数：(延べ)約1,500名

#### D. 市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行った。

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン

(イオン上峰ショッピングセンターに参加)

イ. 鳥栖・三養基地域障害者自立支援協議会(構成団体として)

ウ. 鳥栖市障害者理解促進事業(芹田：実行委員長として)

エ. 鳥栖みらい会議(芹田：副代表として)

オ. ふれあいスクール(芹田：校長として)

カ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会(芹田：委員として)

キ. 鳥栖・三養基地区夏休み教室実行委員会(芹田：実行委員長として)

#### ⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 3,567 千円

さんかく(多機能型事業所)

障がいのある子ども達の健やかな成長を支援するために、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業を行うため、平成26年4月1日の開所へ向けた準備を行った。

実施日：通年

実施場所：みやき町

スタッフ数：専従スタッフ2名、事務局2名

⑨障害者総合支援法に基づく事業  
実施なし

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

①自動販売機設置事業

支出額 16 千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金的に補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内

スタッフ数：(通年) 2名